

図書館閲覧席の自習利用と高屋図書館の開館時間拡大の実施について

1 概要

東広島市立図書館において、市民の幸福感の向上に資する、『Well-being Library-市民の幸福と学びを支える公共空間-』を実現し、図書館の特性を活かした多様で柔軟な役割を発揮する一環として、令和7年8月から試行的に導入していた「閲覧席の自習利用を可能とする運用」と「高屋図書館の開館時間拡大」について、実施方針を報告するものである。

2 自習利用を可能とする閲覧優先席の運用について

(1) 試行導入の概要

令和7年8月1日から8月31日まで図書館全8館の閲覧席を、閲覧者の優先利用としたうえで、自習利用を可能とし、この間、図書館利用者の意見や閲覧席の稼働状況を検証する。

(2) 利用者アンケートの結果（回答件数344件。期間：8月1日から8月21日まで）

ア 利用目的を自習と回答した数	イ 自習利用者の満足度	ウ 自習利用に対する否定的な意見
34件(9.9%) ※10歳代及び20歳代の数	満足・やや満足…計88%	特になし

自習利用に対する主な意見

- ・自習席が静かで、スタッフの方も対応が良かった。
- ・夏休みの課題に集中して取り組めた。
- ・自習室として使えるスペースを、少しだけでも残していただけるとありがたい。

(3) 閲覧席の稼働状況

令和7年8月1日から17日まで各施設の図書館職員の見視により閲覧及び自習利用を確認した。

名 称	中央図書館	サンスクエア	高屋図書館	他館(福富 豊栄 河内 安芸津) ※黒瀬図書館は大規模改修工事中
閲覧席数	40席(別途:読書活動室60席)	8席	62席(高屋情報ラウンジ含む)	59席(4館合計)
稼働率 ()自習利用者の比率	72%(60%)	44%(24%)	49%(78%)	23%(61%)

(4) 実施方針

アンケートでは、図書館の利用者から自習利用に対する否定的な意見は無く、かつ、閲覧席数が定員超過となることも無かったため、利用者の誘導等に係る職員の人的業務負荷も発生していない。
9月以降も、閲覧優先席における自習利用を可能とする運用とする。

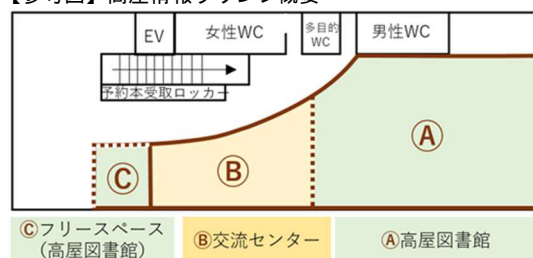
3 高屋図書館の開館時間拡大について

(1) 試行導入の概要

令和7年8月1日から9月30日まで高屋図書館(Ⓐ)の開館時間を、高屋情報ラウンジ交流センター(Ⓑ)に合わせて拡大し、利用者のニーズと課題を検証する(別図)。

なお、拡大時間中は、職員は常駐せず、閲覧席利用と書架開架のみの施設開放とする。

【参考図】高屋情報ラウンジ概要



【別図】開館時間の試行導入前後比較

区分		試行前		試行期間（8月1日～9月30日）
高屋図書館	平日	7:30～12:00 (閉館) 12:00～20:00 (図書館サービス提供)	⇒	7:30～12:00 (拡大) 12:00～20:00 (図書館サービス提供)
	土曜日	7:30～10:00 (閉館) 10:00～18:00 (図書館サービス提供) 18:00～20:00 (閉館)	⇒	7:30～10:00 (拡大) 10:00～18:00 (図書館サービス提供) 18:00～20:00 (拡大)
	日・祝	7:30～20:00 (閉館)	⇒	7:30～20:00 (拡大)
交流センター	全日	7:30～20:00 (駅待合室、地域振興・交流機能)	⇒	7:30～20:00 (駅待合室、地域振興・交流機能) <u>変更なし</u>

(2) 利用者アンケートの結果（回答件数 38 件。期間：8 月 1 日から 9 月 24 日まで）

ア 拡大時間に利用したか？	イ どちら(図書館/ラウンジ)を利用したか？	ウ 拡大継続を希望するか？
利用した…67%	高屋図書館の利用者…63%	拡大の継続希望…97% ※（希望する 76%・どちらでも良い 21%）

継続を希望する主な意見

- ・強く希望します。平日は仕事で、土日祝日に読書や自己啓発のスキルアップをしています。延長、特に夜がありがたいです。ぜひ恒久化してください。
- ・朝の通勤前に図書に触れられることで、知的にも精神的にも豊かな生活を送れているから。

(3) 利用者数の推移（平均利用者数）

試行前(6月7月)と試行期間中(8月9月)の利用者数（開館拡大の時間帯）			1日総利用者数
平日（7:30～12:00）	土曜(7:30～10:00 18:00～20:00)	日・祝（7:30～20:00）	
85 人⇒140 人(165%↑)	78 人⇒130 人(167%↑)	193 人⇒451 人(234%↑)	450 人⇒530 人(118%↑)

(4) 管理上の業務負荷

人員配置を伴わないため、人的業務負荷は無く、新たな管理コストは、館内照明に係る電気代のみ。安全管理については、試行期間中に、汚損や盗難などのトラブルは発生していない。

(5) 実施方針

アンケート結果は継続希望が多く、来館者数も増加しており、高い利用者ニーズが認められた。管理上のトラブルや新たな業務負荷も発生していないため、10 月以降も、開館時間の拡大を実施する。

4 今後の対応

図書館の次期指定管理者の募集に際しては、これら二つの取組みの導入を前提とした業務仕様としており、指定管理者の事業計画に基づき次年度以降も継続して実施する予定である。

今後も引き続き、制度の改善や運用の工夫によって、図書館における多様なサービスの充実を図るための取組みを推進する。